

第15回「3月議会について」

道の駅花の三聖苑を振興公社に委託する議案は、1月の臨時議会で全員の承認をいただきました。

その当日、道の駅花の三聖苑へ行き、職員に結果を説明しましたが、その中で、「4月からどこで働こうか悩んでいた」という声もあり、正直、私は安堵するとともに、議決の重み、自分の責任を改めて感じたところです。

さて、3月議会は、来年度予算を上程する重要な議会ではありますが、予算の議決は議員のみが有する権限であり、議決なくしては確定せず、執行はできません。そこで、万が一、予算が否決された場合、町民の生活にどのような影響を及ぼすか、代表的な例を考えてみました。この場合、町は暫定予算を組みますが、補助団体である社会福祉協議会、商工会、観光協会、農業振興会、シルバー人材センター等の運営に影響が出ますし、各種事業への予算配分ができませんので、乳幼児保育事業、買い物等支援事業、自主運行バス事業も休止せざるを得なくなり、町民生活に大きな支障が発生します。また、道路河川整備事業、防災関連事業、学校整備等の公共工事等に遅延が発生し、町内事業所の営業に大きな影響があり、従業員の生活にも大きな影響を及ぼします。

今回の当初予算は、私が求めている「経済活性化」、「医療福祉の充実」、「災害に強い町」実現の一里塚であり、これらを具現化するための関連予算を計上いたしますが、皆さまの税金でまかなわれることを意識し、「町民満足度の高いまちづくり」に向け邁進してまいりますので、町民皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。